

# SCP-MA-N

## リリースノート

Ver.2.1.0

2007/10/1

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。  
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。  
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright(c) 2007 Yamaha Corporation

All rights reserved

## &lt;更新履歴&gt;

Ver.	Date	内容
2.1.0	2007/10/1	新規作成

## <目次>

1	更新履歴 .....	4
2	使用上の注意点 .....	4
2.1	対応端末 .....	4
2.2	MA-2,3,5,7 プラグインの Use 設定 .....	5
2.3	Information の CodeType (文字コード) .....	6

## 1 更新履歴

版	日付	内容
2.1.0	2007 年 10 月 1 日	SMAF/MA-7 を MA-7 N 端末向けの mld ファイルへ変換するプラグインを追加しました。
1.1.0	2005 年 6 月 21 日	新規リリース SMAF/MA-2、MA-3、MA5 を各 MA-2,3,5 N 端末向けの mld ファイルに変換します。

## 2 使用上の注意点

### 2.1 対応端末

mld\_N においては MA-3 と MA-5 を使用した端末それぞれでベロシティーカーブが違ったり、WT の音圧調整方法が異なるため、同じ MA 音源を使っても音量に差がある場合があります。SMAF から変換したデータをそのまま再生できる端末は以下になります。

入力	対応端末
SMAF/MA-2	N503
SMAF/MA-3	N504, N251
SMAF/MA-3	N2051(FOMA), 海外向け MA-3 端末 この変換は、SCP のオプションにつけた Velocity 変換機能を使用した際に対応します。
SMAF/MA-5	N900, N506
SMAF/MA-5	N505, N252(MA-5) SMAF/MA-5 を変換した mld は、N505, N252 で再生した場合、本来の音量バランスとは違った鳴りになる場合があります。
SMAF/MA-7	N902, N903, N904 LED は SMAF 同様に発光されない場合があります。

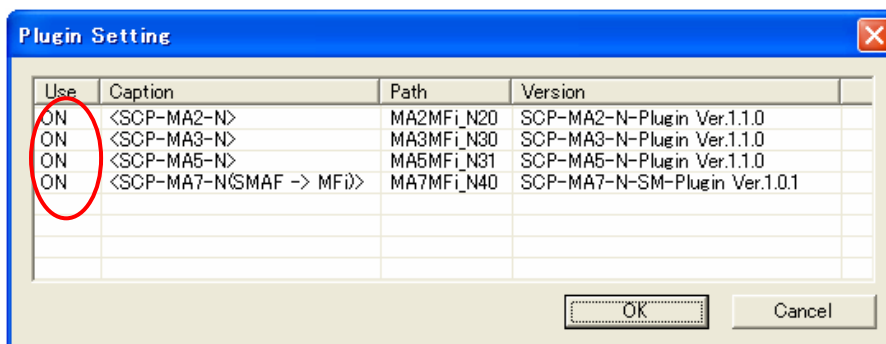
## 2.2 MA-2,3,5,7 プラグインの Use 設定

本版は、MA-2,MA-3,MA-5,MA-7 の統一パッケージになっており、デフォルトでは MA-2/3/5/7 全てのプラグインの Use が ON になっています。

入力ファイルに対して MA-2/3/5/7 全ての変換処理をおこなう結果、ダイアログに変換エラーが表示されてしまいます。

実例を以下に示します。

起動時の状態は、各 MA-2,3,5,7 のプラグインの Use が全て ON です。



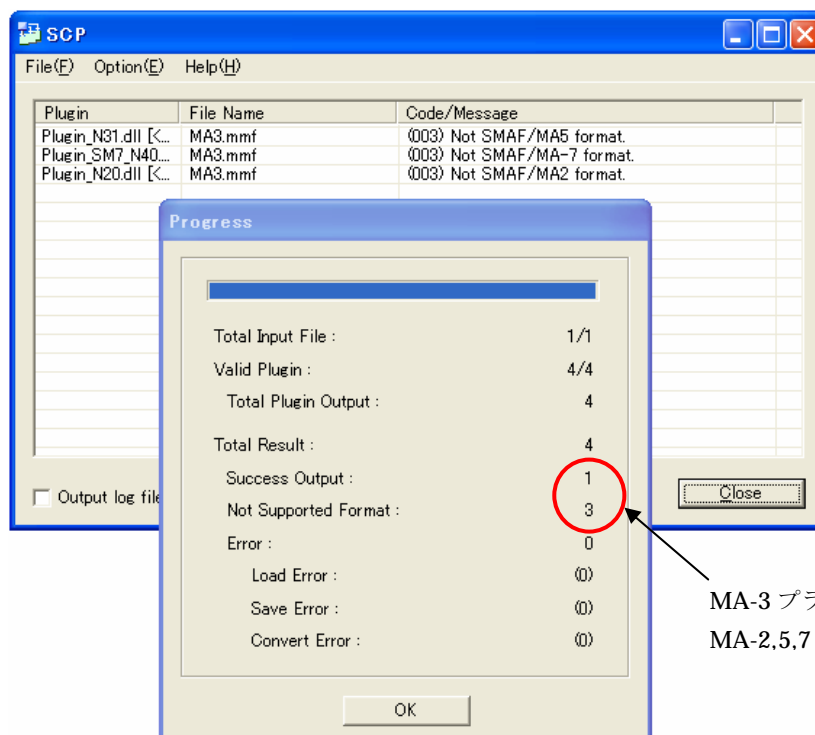
上記の状態で SMAF/MA-3 ファイルを入力した場合

MA-2,3,5,7 プラグインの順で変換をおこなうため、

以下のように MA-2,5,7 プラグインで変換エラーになってしまいます。

【注意】プログレスダイアログは、最後に起動した MA-7 プラグインの結果しか表示されません。

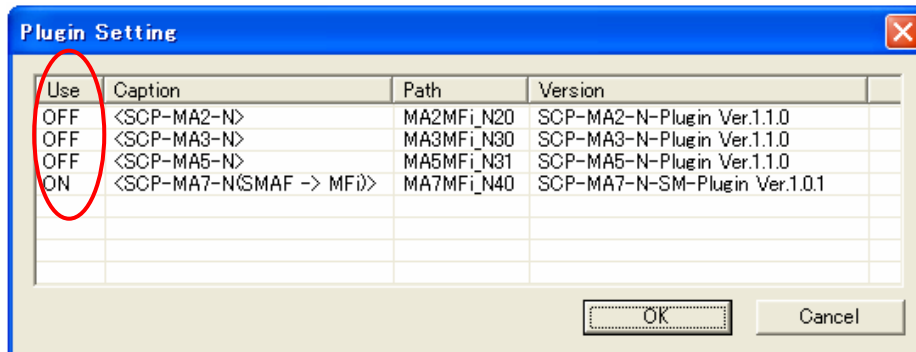
OUTPUT フォルダには、MA-3 プラグインで変換後の mld ファイルは出来ています。



MA-3 プラグインが変換成功  
MA-2,5,7 プラグインが変換失敗

Option-PlugIn Setting で使用する PlugIn のみを ON に設定し、最適な変換条件に設定することが出来ます。

以下の例では、MA-7 プラグインだけ有効になります。



## 2.3 Information の CodeType(文字コード)

MA-2,3,5,7 のプラグイン全てにおいて、デフォルトは Shift-JIS になっています。

Option-PlugIn Setting にて、PlugIn 欄をダブルクリックすると、Information 設定が出来ます。  
海外端末向けの場合は、ここの CodeType で最適なものを選択してください。

### 【注意】

MA-7 プラグインは Shift-JIS 固定になっています。